



報道資料

平成29年3月30日
中国電力株式会社

平成29年度供給計画（送配電）における 中国エリアの需給バランスおよび流通設備形成計画について

当社が電力広域的運営推進機関に提出していた「平成29年度供給計画（送配電）※」に関して、本日、同機関において各一般送配電事業者の供給計画が取りまとめられましたので、同計画における中国エリアの需給バランス見通しおよび流通設備形成計画について、お知らせします。

中国エリアの需給バランスについては、対象期間（平成29年度～平成38年度）のいずれにおいても、安定供給が確保できる見通しです。

当社としては、引き続き、中国エリアのお客さまに安定して電気をお届けできるよう取り組んでまいります。

※ 「供給計画（送配電）」は、送配電事業者が各エリアの電力需要や需給バランス、流通設備形成計画等を取りまとめたもので、電気事業法に基づき、毎年度、国（経済産業大臣）に届け出ることとなっています。

平成28年度からライセンス制へ移行したことにより、各事業者は、発電、小売、送配電のライセンス毎に、電力広域的運営推進機関を經由して国に届出を行います。

以 上

（添付資料）

別紙1：中国エリアの需給バランス見通し（8月，送電端）

別紙2：中国エリアの流通設備形成計画の概要

中国エリアの需給バランス見通し(8月, 送電端)

(単位: 万kW, %)

年度	H28 (実績)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
最大需要電力※	1,044	1,045	1,046	1,055	1,059	1,064	1,070	1,075	1,080	1,086	1,090
供給電力	1,222	1,342	1,267	1,256	1,271	1,278	1,293	1,365	1,369	1,370	1,373
供給予備力	178	297	221	201	212	214	223	290	289	284	283
供給予備率	17.0	28.4	21.1	19.1	20.0	20.1	20.8	27.0	26.7	26.2	26.0

※ 最大3日平均電力

(注)・四捨五入の関係で計算が一致しない場合がある

- ・最大需要電力は、中国エリア内の需要について、実績傾向や経済動向などを勘案し、想定したもの
- ・供給電力は、中国エリア内における各事業者(発電・小売・一般送配電)の供給計画の値を合計したもの

(参考)

○ 自社開発電源一覧〔平成29年度供給計画届出書（発電）〕

設備	区分	発電所名	出力 (万kW)	着工年月	営業運転開始年月
火力	着工準備中	三隅発電所 2号機〔石炭〕	100.0	平成30年11月	平成34年11月
原子力	工事中	島根原子力発電所 3号機	137.3	平成17年12月	未定
	着工準備中	上関原子力発電所 1号機	137.3	未定	未定
	着工準備中	上関原子力発電所 2号機	137.3	未定	未定

○ 供給計画における原子力の考え方

- ◆ 供給計画における原子力の供給力については、再稼働・営業運転開始時期を明確に見通すことができないことから、「未定」としてはいますが、資源エネルギー庁「電力需給バランスに係る需要及び供給力計上ガイドライン」では、「未定とした原子力の供給力をゼロ」として算定することが明記されています。
- ◆ 高経年化した火力発電所の稼働を前提に、当面の間は供給力を確保できる見通しですが、中長期にわたって安定供給を継続するためには、安全性の確保を大前提とした、原子力の再稼働、運転開始ならびに新規開発が必要不可欠と考えています。

中国エリアの流通設備形成計画の概要

【主要送電線路工事一覧】

区分	件名	工事概要			
		区間	電圧(万V)	亘長(km)	営業運転開始年月
工事中	広島東幹線一部増強	広島東幹線No. 180 ～井原(開)	22	33 [33]	H29年12月

(注) []は除却設備を示す

【主要変電所工事一覧】

区分	件名	工事概要		
		電圧(万V)	容量(万kVA)	営業運転開始年月
工事中	北尾道(変) 変圧器増設	22/11	30	H30年1月
H29年度 着工予定	東山口(変) 変圧器増設	50/22	100	H31年4月
H30年度 着工予定	新徳山(変) 変圧器取替	22/11	30 [15]	H31年4月
H30年度 着工予定	笠岡(変) 変圧器取替	22/11	30 [25]	H31年6月
H31年度 着工予定	作木(変) 変圧器増設	22/11	20	H32年4月
H32年度 着工予定	西島根(変) 変圧器増設	50/22	100	H34年3月

(注) []は除却設備を示す

電力系統図(22万V以上)

